

14

統計局

総務課審査係長
須藤 英明

正確な統計を提供するために



■ PROFILE

Hideaki Sudo

平成12年1月	総務庁採用
	統計局統計調査部経済統計課事業所・企業統計室審査発表係
平成14年8月	情報通信政策局総合政策課情報通信経済室
平成16年7月	統計局統計調査部国勢統計課
平成19年4月	労働力人口統計室企画指導第二係
平成21年4月	統計局統計調査部国勢統計課
平成22年4月	労働力人口統計室企画指導第一係
平成24年4月	統計局統計調査部消費統計課 物価統計室物価構造調査係長
	現職

とある
一週間

■ MONDAY

月末に公表する調査結果の報道発表資料の審査を行います。

■ TUESDAY

来年度の組織再編について関係者の方と打合せを行い、関連資料を作成します。

■ WEDNESDAY

何とか資料を作成し、上司に確認してもらいます。OKが出たので大臣官房へ送付。

■ THURSDAY

統計調査の規則改正資料について審査を行い、担当者に確認します。

■ FRIDAY

夜、1週間の業務が終わるほつと一息。とある所で電車（のおもちゃ）に囮まれ時間を忘れます…

■ 仕事の内容

文書審査という仕事

私は現在、法令案を始めとする文書審査、組織改編に関する事務、例規集の編集に関する業務等を行っています。

文書審査は、各担当者によって練られた文書についてそのコンセプトを考慮しつつ、より完成度の高い成果物とする行程の終盤における事務として、スピードと慎重さという相反する要素を求められる業務です。常にミスは許されず、緊張感の高い日々が続きますが、多種多様な事業に関する完成度の高い書類と常に向き合えるという貴重な時間をいただいている。

また、局内の業務をより効率的に行うこと可能とし、直面している課題に対応するために組織を再編する場合は、関係者と打合せや調整を行い、その内容を基に関係部局への説明資料を作成します。各事業に取り組む上で、体制整備の有無は大きく影響するため、資料作りにも大変熱が入ります。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

幅広く奥深い統計の仕事

これまで、他局での仕事を含め様々な業務に携わさせていただきましたが、特に印象に残っているのは、労働統計に関する国際会議のためジュネーブに出張した2週間についてです。出張前には膨大な会議資料を翻訳して対処方針を準備する必要があり、ハードな日々が続きましたが、会議における諸外国の発表や議論に加えて、パリでフランスの労働力調査について詳しく聞くことができ、今後の調査において大変有意義な期間でした。

（会議外では、期間中宿泊していたホテルで、上司の隣の部屋から火が出てホテル中が騒然となり、地元の消防士も出動するという忘れられない事件！？もありました。）

統計は、横を見ると他省庁から諸外国まで研究の対象は広がっていると同時に、少し苦労しても深く掘り下げれば掘り下げるだけ、より多くの気付きや深い理解が得られる奥の深い分野でもあると思います。私自身、まだ学ばなければならぬことはばかりなのですが、真摯に向き合っていきたいと考えていますので、共に取り組んでいただける方に出会えることを楽しみにしています。

■ PRIVATE TIME

自分の時間を取りができる早朝を利用して、興味のある本を読む時間に充てています。出勤前に1つ達成感を満たすこともでき、その日の業務にもプラスの影響が出るようになります。休日は子供と触れ合うため、一緒に過ごせる貴重な時に感謝するため、疲れて早く寝てもらうため…全力で遊びます。写真はその合間に公園で撮った一枚です。

